

PTAからPTCAへ

Parent(親)Teacher(先生)Community(地域)Association(会)

PTCAとは

PTAに地域住民 (Community)が加わった「親と教師と地域住民の会」のことで、地域住民が、学校教育に外側からの支援をするだけでなく、地域の子どもたちは地域で育てるという「共育」の気持ちを大切にしながら子どもたちの成長を応援します。
つまり、学校・家庭・地域社会の三者が、子どもの教育について緊密に連携した組織のことです。

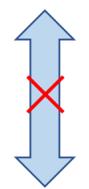
第一次中央審議会答申(H4)の中に、「これからの子供たちに必要となるのは、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性であると考える。」とあります。
保護者の皆さんと地域と一緒に、東条学園小中学校のビジョン達成に向けて頑張りましょう。

東条学園小中学校のビジョン
 ◎自ら志を立て、主体的に判断し、行動する学園生に育てる。
 ◎個性や多様性を相互に認め合い、ともに生きる学園生に育てる。
 ◎強くしなやかなこころを持ち、健やかな身体を作る学園生に育てる。

これまでの体制

学校運営協議会

・・・保護者や地域住民などの意向を学校運営に反映させる学校内の組織で、学校長から示された経営方針を承認したり、承認された経営方針にそって業務遂行がされているかをチェックする。



学校運営協議会の委員に、PTAの会長・副会長2名が参画しているが、PTAの組織とは直接の繋がりがなかった。

PTA

・・・本部役員と4つの委員会、学級委員、地区委員で構成される(P)と教職員(T)が連携を取りながら子どもたちのより良い教育環境を作る活動を実践していく組織

これからの体制

これからは、PTCAの考え方にあるように、保護者の皆さんと地域の人達が一緒になって東条学園の子どもたちを育てていきたいと思います。
 そこで、学校運営協議会として経営方針の承認等大局的な視点から判断するだけでなく、具体的に子どもたちに関わる仕組みをつくるために学校運営協議会の中に部会を作り活動していきます。
 そして、PTA役員の皆さんもこの部会活動に参加してもらうことで、地域の資源(経験や知恵、応援体勢)を利用することができますので子どもたちに必要な支援の幅が広がります。また、従来の活動を継承するだけでなく、子どもたちにとって本当に必要な活動はどのようなものであるかを学校運営協議会のメンバーとも議論しながら進めていきます。

東条学園小中学校サポーターズ・クラブ(仮称)について (人材バンク?)

◎クラブ結成の趣旨と目的

・コミュニティスクールと位置づけられている東条学園小中学校の子どもたちを地域の知識や技能を持つ人達がサポーターとして東条の良さを伝える。

◎活動

・地域の知識や技能を持つ人達をサポーターとして登録してもらい、子どもたちが必要になったときに協力して頂く。

東条学園小中学校サポーターズ・クラブ(仮称)構成図

